

No. 12-5

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 12 - 5

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与		8		作成日		27年 4月 日		
事務事業名								育苗研修交流施設事務				
総合計画上の位置付け	基本施策	5 賑わうまち						課名	産業課		係名	産業振興係
		5-1 働きがいのあるまちをつくる							シート作成者			
	施策	5-1-1 農業の振興						予算費目	会計		一般	
									款		6	
	主要施策	④ 流通体制の充実							項		1	
⑤ 都市と農村との交流の促進						目			3			
個別計画名												
住民との関わり		施策・事業評価における住民の意見の反映										
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）							
	住民				施設の効率的な運営と野菜・園芸教室等の開催により、生きがい農業の推進を図るとともに、町民の憩いの場・交流の場を提供します。							
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		育苗研修交流施設（ガラス温室）にて「野菜・園芸教室」の開催と花卉等の栽培を通じて、住民の緑化意識の推進を図ります。また、施設の効率的な利用方法として、朝市や朝市祭、農業祭を開催し、地元で採れた安全・安心な農産物の直売等を通じ、生産者と消費者との意見交換等により需要に応じた農産物生産の基盤づくりを図ります。										
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度		～		平成 年度		（ 年間）		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
根拠法令・要綱等		東員町育苗研修交流施設の設置及び管理に関する条例										
		平成25年度（決算）			平成26年度（決算）			平成27年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B		1,533			1,573			1,565				
財源内訳	国庫支出金		0			0			0			
	県支出金		0			0			0			
	地方債		0			0			0			
	その他特定財源		0			0			0			
	一般財源		345			385			377			
直接事業費（千円）A		345			385			377				
人件費（千円）B		1,188			1,188			1,188				
内訳	一般職員（人・千円）		0.18 人 1,188		0.18 人 1,188		0.18 人 1,188		0.18 人 1,188			
	臨時職員（人・千円）		人 0		人 0		人 0		人 0			
成果指標	成果指標名				単位	26年度		27年度	28年度			
						目標	実績	（目標）	（目標）			
	①	野菜・園芸教室参加人数			人	30	24	30	30			
	②	朝市への入場者数			人	2,000	1,075	2,000	2,000			
③												
説明	野菜・園芸教室の募集定員数及び朝市の入場者数を指標としています。											

事業名		育苗研修交流施設事務		シート作成課		産業課		
一次評価者		産業課長		二次評価者		建設部長		
評価項目の説明	チェック項目			一次	二次	一次の評価又は説明		
	必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	非農家・定年退職者等が主として、野菜、花卉等の栽培実習を行うための場として利用することは効果的です。	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	非農家・定年退職者等への知識習得の場としては有効です。	
	達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	教室受講者及び利用者からは、高い評価を得ています。	
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	町主催の事業のほか、シルバー人材センター独自で、月1回程度、シルバーの会員を対象として盆栽・園芸講習会も行っています。1回あたり12名ほどの方が受講されています。	
本事務事業の実施適切性の説明 非農家や定年退職者に対する趣味・生きがいがづくりの場、農業者に対する生産意欲の向上の場として適切な事業と考えます。今後は現施設をベースとして有効利用を展開し、効率的な活用の方策を検討します。 ※平成27年4月から(株)シグマサポートによる「農・福連携のまちづくり」として、管理棟(一部)、水耕棟の利用開始。								
一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	3	3	3	B	A	
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	拡大		
今後の改革・改善目標	施設を有効に利用することにより、住民の農業に対する理解を深めるとともに、生産意欲の向上を図っています。今後は、現施設をベースとし、農業者自らの活動拠点となる通年型施設としての運営に創意工夫が必要と思われます。							
二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	3	3	3	B	A	
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	拡大		
コメント	育苗研修交流施設は、花や野菜を育てる園芸を通じた生きがいがづくりの場としても重要な施設と考えます。今後は、農業関係機関等とも協議しながら、東員町の農業振興に寄与する施設として検討する必要があります。							
二次評価に対する課の考え方								
参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	4	住民（利用者）も運営等に参画していく			